

平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input checked="" type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
	全体計画			平成29年度	経費区分			—		内線	3622
事務事業名	6080 市誌編さん事業										
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費									
	事業	030000 市誌編さん事業									
事業目的						事業概要・効果					
<p>市誌編さん事業は、市民が須坂市の豊かさや太古から現代までの先人の営みを学ぶことで、共感し、自ら発送し活動するための「ひとづくり」や「まちづくり」に寄与することを目的とする。</p>						<p>市誌編さんにあたり、歴史編の資料調査、地誌・民俗編の現地・文献調査を行い、収集した資料の活用と保存を図る。また、収集した資料の紹介や中間報告を兼ねた「文化・歴史講座」を開催し、市民へ生涯学習機会の提供や市誌編さん事業への理解を深める。</p> <p>H23：自然編、H25地誌・民俗編、H26～28：歴史編Ⅰ～Ⅲを刊行し、平成29年度までに年表編を発刊し事業終了とする予定。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
第5巻「歴史編Ⅲ（近現代）」調査・執筆、発刊及び歴史編Ⅰの編纂に係る調査 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止	第3巻「歴史編Ⅰ（原始～古代）」調査・執筆、発刊及び別巻「年表編」の編纂に係る調査 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止
平成29年度 予定	平成30年度 予定
別巻「年表編」調査・執筆、発刊 個人などが所蔵する古文書等の情報収集及び整理・目録化による史料散逸防止	(事業終了)
平成31年度 予定	平成32年度 予定
(事業終了)	(事業終了)

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		14,932	8,587
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	6,686	1,512
一般財源		8,246	7,075
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	8.0	8.0
人員コスト	正規職員	1,443.8	1,443.8
	嘱託職員	826.5	826.5
	臨時職員	9,144.0	9,144.0
	計	11,414.3	11,414.3
市民一人当たりの経費		0.5	0.4
総額		26,346.3	20,001.3

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4,599	市誌執筆謝礼、調査謝礼、歴史文化講座講師謝礼
11節 需用費	5,400	市誌「歴史編Ⅲ」・資料目録の印刷、消耗品他
13節 委託費	96	コピー機点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,837	郵便料・電話料、機器賃借料、備品購入費外

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	188	市誌執筆謝礼、調査謝礼、歴史文化講座講師謝礼
11節 需用費	3,612	市誌「年表編」・資料目録の印刷、消耗品他
13節 委託費	234	コピー機点検委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,553	郵便料・電話料、機器賃借料、備品購入費外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市誌の刊行等により市民共有の文化的遺産を次代に継承する	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市誌が市民に広く頒布されている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	資料目録の印刷部数の見直しと、執筆・調査を専門員を中心に行いコストを削減する	

振り返り（決算年度の取組み課題）

計画どおり、市誌第3巻「歴史編Ⅰ」を発刊した

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
予定通り進捗している。29年度年表編を発刊して終了する。		29年度をもって、事業終了。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント